

1組 対話的な学び

対 象：第4学年1組 40名

2組 主体的な学び

第4学年2組 39名

授業者：1組

2組

1 単元名

Let's Try!2「Unit 8 This is my favorite place.」

2 児童観

本学年の児童は、英語でのコミュニケーションができるようになりたいという意欲はあるものの、単元が変わるごとに学習する英単語の量や話型の難しさから、なかなかスムーズなやり取りができず、「外国語活動」そのものへの自信がもてない児童が多いという実態がある。この課題を解決するための手立てとして、英単語を繰り返し発音するだけでなく、「small talk」やゲーム形式の活動を取り入れることで、児童の興味を引き付け、楽しみながら知識の定着を図るようにした。また、廊下にも掲示物を設けるなどして、日ごろから英語が目につき、自然と英語に慣れ親しめるように工夫した。さらに、教科書の内容に加えて、より必然性を感じられるような活動を行うことにより、英語によるコミュニケーションへの興味は高まるようにしていく。

3 研究主題にせまるために**(1) 主体的な学び**

今年がオリンピックイヤーであることを踏まえ、「外国人観光客に、身近な場所を英語で案内する」という実際に起こりうる場面設定をすることで、学習活動に必然性を生み、意欲をもたせる。

(2) 対話的な学び

必然性や意欲をもたせることにより児童の主体性を引き出すとともに、案内活動を通して、学習するスクリプト以外にどのような言葉が必要かを考えさせることで、対話的な学びへとつなぎたい。また、既習事項が活用できる場面を考え、活用させる。

(3) 深い学び

コミュニケーション活動を通じて生まれた新しい気づきを共有し、相づちなどの自然な表現が身に付いていくような基礎を培う。ロールプレイを通して実際にそれらを使う機会を設ける。

4 単元の指導目標

- ・世界と日本の学校生活の共通点や相違点を調べ、多様な考え方や文化・生活習慣の違いがあることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・自分が気に入っている校内や地域の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力)
- ・相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

5 言語材料**(1) 表現(児童の発話)**

Go straight. Turn [right / left] . Stop. This is (the ~). This is my favorite place. I like (~).

(2) 語彙(児童が使う語彙)

favorite, place, my, our, go, why, straight, 学校・教室等 (classroom, restroom, [science / music / arts and crafts / computer / cooking] room, [school principal's / teachers'] office, entrance, library, gym, prayground) 場所 (Tokyo Stadium, Kitaro Park, Cyofu Station, Jindaiji Temple)
[既習] 挨拶, 曜日, スポーツ, this is for you. Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. turn, right, left, lunch, school

6 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

7 単元の評価規準

知識・技能	① 話型や学習した英単語を使って、場所の案内ができる。
思考・判断・表現	① コミュニケーション活動に向けて、話型以外の発表の仕方について考えることができる。 ② 話型を参考にしたコミュニケーション活動を通して、考えを伝え合うことができる。 ③ 音声で慣れ親しんだ表現を推測しながら聞くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	① 学習に興味をもち、意欲的に学習活動に参加することができる。

8 単元指導計画（全4時間）

時	目標（◆）と主な活動（○） 主題にせまるための手立て（◎）	評価
1	◆単元の見通しをもち、学習に出てくる英単語や話型を知ることができる。 ○「small talk」（「教室クイズ」と題して、どの教室かを答えさせる。） ○単元の学習の流れを知る。 ○学校・教室等の言い方を知り、練習する。 ○話型を知り、練習する。 ○ポインティングゲーム（P.31）	主-①
2	◆学校内でお気に入りの場所について、紹介の仕方を練習し、伝え合うことができる。 ○「small talk」（「教室クイズ」と題して、どの教室かを答えさせる。） ○話型に沿って練習する。 ○話型に沿ったコミュニケーション活動を行い、学校内のお気に入りの場所について伝え合う。 ◎3-（2）、（3）	知-① 思-② 思-③
3 2組	※9の本時を参照。	
4 1組	※9の本時を参照。	

9 本時（全4時間の4時間目）

1組

(1) 本時の目標

実際の場面を想定し、自分のおすすめの場所を英語で案内することができる。

対話的な学び

(2) 本時の展開

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする ○英語でリアクションする。 ・教師→児童	☆英語を学習する際に意識すべき BEST(Big & Clear voice, Eye contact, Smile, Try)を確認する。	
Warming up 2分	○本時で扱う表現について練習をする。	☆既習事項の確認し、正しく言えているかを確認する。	
Small Talk 3分	○「調布クイズ」として教師が英語で話す調布市内の場所を答える。 △英単語の意味が分からない。	☆質問に詰まったら掲示物を確認するよう促す。	思-③
Today's goal 3分	○本時のめあてを確認する。 調布市のおすすめスポットを英語で案内しよう。 ○本時のながれを確認する。		
	① 話型に沿った案内の仕方を復習する。 A : Hello. B : Hello, I'm ○○. I will show you my favorite place. Go straight. Turn right. This is my favorite place, the Tokyo Stadium! I like rugby. A : I see. Thank you. Bye. B : Bye. ② 実際の場面を想定し、どんなやり取りになるか考え、その上で練習する。 B : May I help you? A : Thank you. Where is the Tokyo Stadium? B : OK. I will shou you. Let's go together. B : Here. A : Thank you. B : You are welcome. Have a nice trip!		
Practice 1 7分	○必要な英語表現の練習をする。 △自信をもって話せない。	☆ペアの友達と練習する時間を確保する。 ☆他に知りたい英単語があれば、その場で確認する。	・ワークシート 主-① 思-①
Practice 2 7分	○話型の練習をする。 ・教師 ・教師と児童 ・児童同士 など	☆HRTが助言をする。様々な形態で練習をする場を設け、自信をもって取り組めるようにする。	
Activity 15分	○コミュニケーション活動を行い、教室を実際の町と想定して場を設定し、案内をし合う。 △スムーズにやり取りができない。	☆黒板や掲示物、ワークシートを確認するよう促す。 ☆上手にできているところを発表させる。	・場所の表示 知-① 思-②
Reflection 5分	○本時のリフレクションを行う。	☆記入事項を確認する。 ☆数名の児童に感想を発表させる。	
Closing 1分	○あいさつをする。		

9 本時（全4時間の3時間目）

2組

(1) 本時の目標

調布市で自分がおすすめしたい場所を決め、英語での案内の仕方を練習することができる。

主体的な学び

(2) 本時の展開

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする ○英語でリアクションする。 ・教師→児童	☆英語を学習する際に意識すべき BEST(Big & Clear voice, Eye contact, Smile, Try)を確認する。	
Warming up 2分	○本時で扱う表現について練習をする。	☆既習事項の確認をし、正しく言えているかを確認する。	
Small Talk 3分	○「調布クイズ」として教師が英語で話す調布市内の場所を答える。 △英単語の意味が分からない。	☆質問に詰まったら掲示物を確認するよう促す。	思-③
Today's goal 3分	○本時のめあてを確認する。		
	調布市のおすすめスポットを英語で案内する方法を考えよう。 ○本時のながれを確認する。 ① 調布市内の場所の英単語を知り、練習をする。 ・東京スタジアム→ Tokyo Stadium ・鬼太郎公園 → Kitaro Park ・調布駅 → Cyofu Station ・深大寺 → Jindaiji Temple など ② 話型に沿って、案内の仕方を練習し、実際にやりとりをしてみる。 A : Hello. B : Hello, I'm ○○. I will show you my favorite place. Go straight. Turn right. This is my favorite place, the Tokyo Stadium! I like rugby. A : I see. Thank you. Bye. B : Bye.		
Practice 1 7分	○調布市内の場所の英単語の練習をする。 △自信をもって話せない。Tokyo	☆ペアの友達と練習する時間を確保する。 ☆他に知りたい英単語があれば、その場で確認する。	主-① ・ワークシート (地図)
Practice 2 7分	○話型の練習をする。 ・教師 ・教師と児童 ・児童同士 など	☆HRTが助言をする。様々な形態で練習をする場を設け、自信をもって取り組めるようにする。	
Activity 15分	○コミュニケーション活動を行い、地図上で案内をし合う。 △スムーズにやり取りができない。	☆黒板や掲示物、ワークシートを確認するよう促す。 ☆上手にできているところを発表させる。	知-① 思-②
Reflection 5分	○本時のリフレクションを行う。	☆記入事項を確認する。 ☆数名の児童に感想を発表させる。	
Closing 1分	○あいさつをする。		